

広島を再び訪ねて

久保 玉子

東中野五丁目

八月三日、私は夜の仕事をしておりますので、眠ってしまつて皆様に迷惑をお掛けしてはと思ひ、眠れませんでした。八月四日、東京発八時五十分の「のぞみ」にて区役所の方々と一緒に車中の人となり、広島着十二時五十分、そのまま荷物を持ってターミナルホテルに荷物を置き、車にて平和公園資料館に参り、入館致しました。

資料館に入館したのは二度です。東京のお客さんを、昭和六二年に案内致しました。昔よりは良くなっておりました。

でもあんなものではありません。私は昔の事を思い出し、心が苦しく、亡くなった方々に「どうか安らかにお休み下さい」と心に念じ、次の場所、基町大会の場所に参りました。

ターミナルホテルに戻つて、午後・大会に臨みました。その晩は区役所の方々と、藤平さん、海老澤さん、間野さん、田中さんと私でお話を致しながら食事を致しまして、ホテルに帰りました。

八月五日は自由行動という事で、藤平さん、間野さん、田中

さんと四人で舟入高校を見学し、昔、学生時代、私達は総合グラウンドの土を、男性は「かつぎ」、女子学生は「ならし」をやられた思い出がありましたので参りましたけど、昔と変わつておりました。

藤平さん、間野さんは、広島大学に思い出があつたので一緒に広大に参りまして、横の所大きな石があるのを私は初めて見ました。でも古い校舎が一棟残つておりました。藤平さん、間野さんに話を聞きながらホテルに戻つて来ました。

タクシーを待たせては、歩き廻つた事が良かったと思います。広島大学の先で私は被爆した事を思い出しました。同じ千田町ですもの。

八月六日、ホテルの前で全国大会の方々と一緒に、バスで平和公園式典場に参りましたけど、昭和二〇年八月六日と同じ様な暑さでした。式が始まって、村山総理、土井さん、東京から皆様がお見えになり、暑いので皆さん息苦しくて大変でした。

昭和五八年にも、中野区代表で広島島の式典に行かせて戴き、

その時は中曽根さんでした。その時も暑くて、暑くて、夜、叔母さんの家に泊まって四〇度の熱を出して、叔母さんが氷で冷やして、薬を吞ませてくれました。でも、私には、おぼえがありません。後で叔母さんに言われ、私自身がびっくりしたので

す。

その叔母も平成五年四月に亡くなりました。今回も献花をして、人におされ、暑さと苦しきで献花をすませて、資料館に五人が集まる所でしたけど、頭がからっぽになり、どうしても行けませんでした。

そのまま別の所にフラフラと行き、気がついた時は叔父さんの事を思い出しました。未だ死体が見つからない叔父さん、久保繁一がああ近くで亡くなっているのか知れません。そのまま電車に乗ってホテルに行き、予定を見て、東京の木に献水に参り、東友会の村田さんに逢い、皆さんと一緒に献水をしました。

その中にいた、議員会館でお逢いした事のある、江波生まれの、立川から来ていらした木曾田さんと一緒に紙屋町まで歩き、その近くのホテルのロビーでお茶を飲み、私はそのままホテルに戻って、荷物を受け取って、駅のコインロッカーに荷物を入れて、広島の先祖代々のお墓に参りました。

思い出してもゾーと致します原爆。核は世界中を無くします。あつてはいけない事です。人間の生きるどころ、動物すべてが生きられなくなります。

その恐ろしさを口では言っても、実際に自分自身、比の目で見た人でないとわからないと思います。
わかってほしいですね。

